| 学校番号 | 416 |
|---|---|

# 令和８年度　数学科

| 教科 | 数学 | 科目 | (学)数学基礎演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | ネオパル数学Ⅰ＋Ａ（第一学習社） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

| |
|---|
| １年次に学習した内容を中心に，個々の進路に応じて発展的な内容を扱い，数学的な見方や考え方とともに応用力を養う。 |

2　学習の到達目標

| |
|---|
| 【知識及び技能】<br>基礎的な知識を身につけ，事象を数学的に表現･説明する仕方や推論の方法などの技能を身につける。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>事象を数学的に考察しその過程を振り返り，事象を数学的に表現・説明することができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>数学の良さを認識できるようにするとともにそれらを活用する態度を身につける。 |

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 数と式，データの分析，図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 | 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，人間の活動の中の事象に数学の構造を見いだし数理的に考察する力を養う。 | 数学のよさを認識し，数学を活用，発展しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとする態度を養う。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 集合と論証 | ・部分集合<br>・共通部分と和集合<br>・補集合<br>・ドモルガンの法則<br>・命題の逆・裏・対偶<br>・背理法 | a：集合の要素を書き並べて表すことができ，命題や十分条件，必要条件及び必要十分条件の意味を理解している。<br>b：命題の真偽を，集合の包含関係に結び付けてとらえることにより考察することができる。<br>c：条件を満たすものの集合の包含関係が，命題の真偽に関連していることに着目し，命題について調べ，考察しようとする態度がある。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況<br>振り返りシート |
| | データの分析 | ・偏差<br>・分散と標準偏差<br>・相関係数<br>・相関関係と因果関係 | a：最頻値，中央値，平均値の定義や意味を理解，求めることができる。<br>b：四分位範囲や箱ひげ図をもとに，中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。<br>c：相関係数と散布図の関連について考察しようとする。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況<br>振り返りシート |
| 2学期 | 図形の性質 | ・三角形の内角および外角の二等分線と比<br>・内分と外分<br>・三角形の内心・重心・外心<br>・円周角の定理<br>・円の接線<br>・接線と弦のつくる角<br>・方べきの定理 | a：円周角や弦と接線の作る角の性質を理解し，利用して角の大きさを求めることができる。<br>b：円周角や弦と接線の作る角や方べきの定理について，作図しその性質を考察できる。<br>c：円の性質について関心をもち，円を多面的にとらえ，考察しようとする態度がある。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題，提出物の状況<br>振り返りシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 数と式 | ・単項式と多項式<br>・指数法則<br>・乗法公式<br>・因数分解<br>・有理数<br>・絶対値<br>・根号含む計算<br>・不等式の性質<br>・１次不等式<br>・連立１次不等式<br>・１次不等式の応用 | a：展開および因数分解の公式の意味を理解し，式を理解することができる。<br>b：式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解している。<br>不等式の解を数直線上に表すことができる。<br>c：分母に根号を含む式について，分母を有理化することの意義を理解しようとする。<br>不等号の意味と数量の関係を不等式で表す意義を理解しようとする。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題、提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題、提出物の状況<br>振り返りシート |
| 3学期 | 数学と人間の活動 | ・約数と倍数<br>・ユークリッドの互除法 | a：約数と倍数，素数の定義を理解している。<br>ユークリッドの互除法を用いて，2数の最大公約数を求めることができる。<br>b：素因数分解を利用した最大公約数や最小公倍数の求め方を理解し，説明することができる。<br>c：因数分解をしなくても，ユークリッドの互除法によって最大公約数が求められることに興味・関心をもつ。 | 定期考査<br>小テスト | 小テスト<br>学習活動への取組み<br>課題、提出物の状況 | 学習活動への取組み<br>課題、提出物の状況<br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度